

# 会 議 録 (要旨)

会議名	田川市新中学校のあり方に関する審議会 第10回会議
開催日時	平成27年9月24日(木) 10時00分～12時00分
開催場所	田川市民会館 講座室1-1
出席者	(委員) 神谷委員、四戸委員、大宅委員、二場委員、兒島委員、中山委員 穂山委員、浦野委員、加治委員、森委員、財津委員、崎原委員 (事務局) 吉柳教育長、和田教育部長、小林学校教育課長、森本教育総務課長 山本生涯学習課長、永岡文化課長、樋口学校教育課長補佐 犬丸学校適正規模推進室長、大久保学校教育課主任

審議事項	審議内容
[ 審議資料 1 ] 学校位置を考える	<p><b>【事務局の説明】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の会議で仮定した校区割を前提に、再編後の望ましい学校の設置場所を検討していただきたい。学校の設置方法は、次の3つの方法が考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○新規に用地を取得し、新築する</li> <li>○市が所有する未利用地(または転用可能地)に新築する</li> <li>○現中学校所在地に新築(または増改築)する</li> </ul> </li> <li>・ 設置場所を検討する際に考慮すべきポイントは、「学校用地として適正であるか(教育活動に必要な面積があるか)」「校区内で通学距離のバランスが取れているか」「校区間で通学距離の矛盾が生じないか」等がある。それらを念頭に置いて議論していただきたい。 (会議資料2ページの「市有地」までを説明)</li> </ul> <p><b>【委員の質問・意見】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 設置方法の1つである「新規に用地を取得し、新築する」は、市が広大な土地の寄付を受けるか、あるいは安価に土地を取得できる見込みがなければ、用地取得だけでもかなりの時間を要するので、現実的ではない。</li> <li>② まずは「現中学校所在地に新築(増改築)する」と「市が所有する未利用地(または転用可能地)に新築する」の2項目で検討することになる。現中学校所在地の隣接地に市所有の未利用地があれば、それを2つを組み合わせることも可能である。</li> <li>③ 市役所職員駐車場として使用されている旧市立病院跡地は、現時点で具体的な計画が定められているわけではない。しかし将来、市は本庁舎を建て替える必要があり、旧市立病院跡地はその建て替え用地の最有力候補地である。そのため、学校用地にする場合、市の総合的な判断が必要となる。</li> <li>④ 市有地の旧日通工跡地は、面積的には適当だが、下水道の終末処理場としての利用計画がある。現在計画を再検討している状況ではあるが、地元の合意を得て進めてきた計画であり、現段階では候補地として検討できない。</li> </ol>

審議事項	審議内容
<p>[ 審議資料 1 ] 学校位置を考える</p>	<p>⑤ 白鳥工業団地K区画は、ごみ焼却施設建設用地として予定されていた場所である。現在工業専用地域の用途指定がなされている。用途を変更する場合は、県との協議等でかなりの時間が必要となるとのことである。工業専用地域を学校用地に転用できたとしても、工業団地内に学校をつくることに保護者の理解が得られるかどうか問題となる。</p> <p>⑥ 以前街中に建っていた東鷹高校（旧田川東高校）が、工業団地付近に移転した時は、周りに何もない辺りな場所に移転したなと感じた。高校生にとっては周りに何もない場所だ。</p> <p>⑦ 未利用地となっている旧田川東高校跡地は、市長部局がまちづくりのために活用することを考えている状況である。使用できる面積も学校用地として十分な広さはない。</p> <p>⑧ 学校用地として検討できる未利用地のなかで、十分な面積があるのは白鳥工業団地K区画だが、少し中心から外れた場所なので通学面で課題がある。</p> <p>⑨ 設置場所の検討において、考慮すべきポイントが3点示されているが、安全面についても留意する必要がある。例えば、鉱害による陥没等の危険性、地中の埋蔵物の危険性、水害や土砂災害など自然災害の危険性、交通量から見た通学上の危険性などにも留意して検討すべきである。</p> <p>⑩ 現中学校については、自然災害の心配はないのか。ハザードマップではどうなっているのか。</p> <p>【事務局の回答・意見】 ※番号は委員の質問番号に対応</p> <p>⑩ 現中学校は高台にあり、心配していなかったため、ハザードマップまで確認していなかった。次回の会議までに確認したい。</p>
<p>[ 審議資料 1 ] 学校位置を考える</p>	<p>【事務局の説明】</p> <p>（資料P2「想定される最大学級数」からP6、及び別冊資料を説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校設置者が学校を設置する際に必要な施設規模（校舎面積や運動場面積等）は、学級数に応じて法令で定められている。前回の会議で仮定した校区割でつくる中学校の規模を見ながら、必要となる施設及びその面積等を確認していく。法令の基準を目安に、新中学校の施設規模をイメージして学校設置場所の議論を深めていただきたい。</li> <li>・ 別冊資料は、施設台帳に載っている各中学校の面積（所有する全面積）とその面積から法面や山林を除いた実際に活用できる面積（有効面積）を示したものである。参考として学校に隣接する市有地も掲載した。</li> </ul> <p>※ 会議で提示した有効面積図には航空写真を使用したため、インターネット上の掲載に使用制限があるため、ホームページには掲載できない（ホームページには概要図を代用して掲載している）</p> <p>※ 仮定した2つの校区の新中学校は、議事進行の都合により、それぞれ「東中学校」「西中学校」という仮称にしている。</p> <p>【委員の質問・意見】</p> <p>① 文部科学省令の基準では、東中学校（仮称）で最低限必要とされる学校敷面積は、約12,000㎡となる。この面積はあくまで最低基準である。審議会で視察した飯塚第一中学校は、東中学校と同規模の生徒数だったが、敷地面積が約26,000㎡でも手狭な感があった。保護者が参加する学校行事を想定すると、駐車場の確保が課題となる。</p>

審議事項	審議内容
	<p>② 視察した飯塚第一中学校は、運動場が手狭であると感じた。</p> <p>③ 駐車場は余裕を持って確保する必要がある。駐車場でなくても車が停める場所があればよい。</p> <p>④ 小学校が近くにある中学校は、学校行事があるときには、小学校を駐車場に使わせてもらっているところがある。運動会するときでも、小学校と中学校で開催時期が違うので、学校が近ければ駐車場対応ができる。</p> <p>⑤ 運動場は、野球部、サッカー部、陸上部などが同時に練習できるくらいの面積が必要だと思う。運動場の使用方法についてお尋ねするが、中学校ではクラブ活動で野球部とサッカー部が同時に運動場を使用できるのか。</p> <p>⑥ 生徒が多くなれば自然と競争意識が働き、飯塚第一中学校のように、部活動も強くなる。生徒が誇り持てる学校にするためには、部活動の成績が上がることも大事なことだと思う。</p> <p>⑦ 資料中に新中学校で必要と考えられる教室一覧が示されているが、多目的教室とはどのように活用される教室か。</p> <p>⑧ 福智町が教科センター方式（教科に応じた教室や周辺環境を整備する方式）を導入している。その利点は何か。</p> <p>⑨ 教科センター方式を導入しない場合でも、生徒が学習に対して受け身の姿勢にならないような仕組みを考えたほうがよい。そのためには教室の設置方法が問題となる。</p> <p>⑩ 今後、学習にアクティブ・ラーニングを取り入れて行く必要があり、ある程度の広さがある多目的教室のようなスペースが必要となってくる。新しい学習に対応できる施設を当初から用意しておく必要がある。</p> <p>⑪ 本日の資料だけで望ましい学校位置を結論づけることはできないが、既存の中学校の面積は、鎮西中学校を除いてあまり広くない。鎮西中学校は、広さはあるが地理的には端寄りにあるという問題がある。伊田中学校、田川中学校、中央中学校は、隣接市有地を使用できるかどうかで面積が変わってくる。</p> <p>⑫ 次回はどのような資料が用意できるのか。</p> <p><b>【事務局の回答・意見】 ※番号は委員の質問番号に対応</b></p> <p>⑤ クラブ活動の通常練習は同時に行っている。しかし、試合形式の練習は同時にはできない。土・日曜日に行う練習試合では、日時が重ならないよう工夫している。例えばサッカー部が自校を使うのであれば、野球部が他校へ練習試合に行くなどの調整をしている。</p> <p>⑦ 多目的教室は、学年集会で使えるような一定の広さがある教室で、体育館では広すぎて集中を欠いてしまうような場合に使用することが多い。ランチルームのように使うことも可能である。交流学习などでも活用するので多目的室は今後重要度が増していく。</p> <p>⑧ 教科センター方式の利点は、学習に対して子どもたちの目的意識が高まることにある。各教科のために設置された教室に、生徒が自ら足を運んで授業を受けに行く方式が、生徒の学習に対する目的意識を高める効果があると聞いている。</p> <p>⑫ 想定している学校規模で、3階または4階建て校舎を建設した場合、どの程度の面積が必要となるのかを示した平面図をお示ししたい。もう1つは、通学距離と生徒数の関係を示す資料を提示したいと考えている。</p>

審議事項	審議内容
次回会議について	次回会議は、10月29日10時から開催する。